

## 令和6年度 助産師の資質向上・確保対策に関する実態調査（診療所）

### I 概要

- 1 調査目的：産科・婦人科を標榜する県内の病院における助産師の活動状況等の実態把握、分娩を取り扱う病院における院内助産・助産師外来の設置状況及び今後の意向等を把握し、事業や施策内容に反映する。
- 2 調査対象：令和6年4月1日時点で産科補償制度に加入する診療所（65 診療所）
- 3 調査時期：令和7年3月17日～令和7年4月15日
- 4 調査方法：アンケート調査を実施  
メールで周知し、メール、FAX・郵送による回答（メールでの回答を推奨）
- 5 回収数：30 診療所（回収率 71.6%）  
有効回答数：30 診療所（うち6 診療所は助産師業務なし）
- 6 回答者：医師 11 人、看護職 4 人、事務長等 8 人、理事長等 4 人、役職未記入 3 人

### II 結果

#### 1 産科・産婦人科の現状について

##### （1）分娩取扱いの状況

回答数	分娩取扱いあり	分娩取扱いなし	
		妊婦健診等のみ	婦人科のみ
30	19	10	1

##### （2）分娩件数・病床数

- ①分娩件数 6,8641 件、帝王切開件数 1,128 件（R6.1.1～R6.12.31）  
（R3.1.1～R3.12.31：分娩件数 11,551 件、帝王切開件数 1,632 件）
- ②産科病床数 378 床

【参考】出生数（1,348）あたりの帝王切開率・無痛分娩率  
帝王切開率：27.3%（368 件）  
無痛分娩率：16.1%（217 件）

#### 2 産科・産婦人科の状況について

##### （1）従事者数

病床数	診療所数	医師数		再掲)分娩に従事する医師数		助産師数	
		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算	実人数	常勤換算
200 件未満	4	4	4	4	4	16	13.75
200 件以上 299 件	6	19	11.51	17	10.9	54	28.94
300 件以上 399 件	3	6	5	6	5	30	26.7
400 件以上 499 件	2	9	7	9	7	29	27
500 件以上	4	27	11.06	22	11.66	79	72.04
健診のみ	5	14	13.1	0	0	16	12.3
婦人科のみ	1	1	1	0	0	0	0
合計	30	80	52.67	58	38.56	224	180.73
【参考】R3 合計	36	104	66.7	88	55.1	285	176.3
【参考】R2 合計	54	122	71.1	107	60	341	205.88

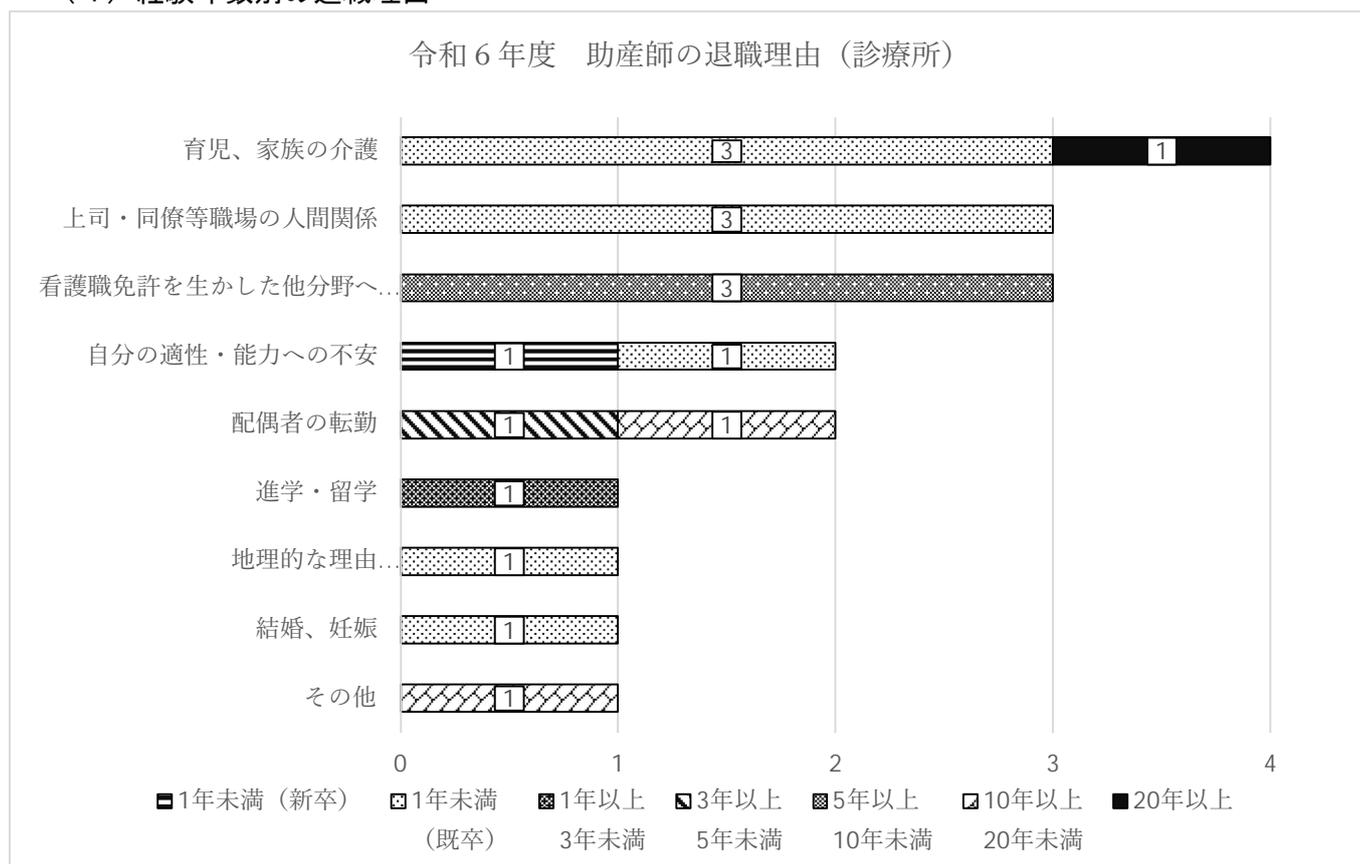
(3) 助産師の採用・退職状況 (R6.4.1~R7.3.31)

在職者数			退職者						
令和6年4月1日の在籍看護職員数		令和7年3月31日の在籍看護職員数	令和6年度の総退職者数			退職率			
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計				
116	80	196	224			11	10	21	10.0%

新卒採用者						既卒採用者							
令和6年度の新卒採用者数			令和6年度中の新卒退職者数			新卒退職率	既卒採用者数			令和6年度中の既卒退職者数			既卒退職率
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計		常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	
1	0	1	0	0	0	0%	23	11	34	4	3	7	20.6%

定年退職者			再雇用		
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
3	0	3	2	1	3

(4) 経験年数別の退職理由



### 3 院内助産・助産師外来等について

#### (1) 院内助産・助産師外来の設置 (N=24)

院内助産	助産師外来	保健指導のみ	設置なし
0	9	12	3

#### (2) 保健指導の実施状況

保健指導			未設置
12	定期	9	3
	不定期	3	

#### (3) 今後の設置予定

R6	院内助産 (N=24)	助産師外来 (N=15)	保健指導 (N=3)
あり	1	0	1
なし	22	14	2
未回答	1	1	0

#### (4) 助産師外来実施状況等について

取扱い件数 (R6. 1. 1~R6. 12. 31) 4,451 件 / 配置人数 専任 4 人 兼任 36 人

### 4 助産師の確保・定着状況について

#### (1) 助産師の確保状況

確保できている	不足している	不足人数
18	6	12

#### 【不足の要因 (自由記載内容)】

- ・応募者が少ない (2 件)
- ・夜間帯の勤務者が足りない (2 件)
- ・産休育休等による不足
- ・地方でそもそも助産師がいない
- ・人件費が高騰し雇用が困難
- ・夜間専属のため日勤者が不足
- ・介護や自身の病気療養のため
- ・スキルアップに時間がかかる

#### (2) 病床別の不足施設

施設属性	施設数
200 件未満	1
200 件以上 299 件未満	2
300 件以上 399 件未満	1
400 件以上 499 件未満	1
健診のみ	1

#### (3) 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 (CLoCMi p)

取得者	新規取得者	未更新者
25	1	6

### 5 助産師の活躍促進について

#### (1) 助産師の人材育成の取り組み (3 項目まで選択可)

項目	回答数
助産に関する研修参加	17
合併症やハイリスク妊婦への対応に関する研修企画や参加	9
助産領域以外の研修参加	8
産後ケア実務助産師研修への参加	7
助産師クリニカルリーダーを活用した人材育成	3
産科がある系列医療機関等への異動や出向、研修	2
正常分娩介助経験のため出向	1
NICU、GCU 等へのキャリアローテーション	1
その他	5

#### 【その他 (自由記載内容)】

- ・助産学校生の受け入れ
- ・新生児対応
- ・Web による研修の参加
- ・NCPR A コース取得

(3) 地域との連携

①産後ケア事業

実施している	今後予定がある	実施予定はない
14	6	4

② 実施事業内容 (N=14、複数回答可)

宿泊型	デイサービス型	アウトリーチ型
10	10	2

③ 今後予定する事業内容 (N=6、複数回答可)

宿泊型	デイサービス型	アウトリーチ型
3	5	0

④産婦健診実施状況

実施中	実施予定	実施予定なし
22	1	1

(4) 助産師の出前授業について

・助産師の出前授業を実施している診療所は1施設、今後実施予定は2施設、残り21施設は実施予定なしであった。なお、実施中されている出前授業内容は中学生・妊婦に対して性教育、プレコンセプションケア、マザークラスである。

(5) 助産師の資質向上や活躍推進について必要な取り組みについて (自由記載)

- ・働く女性の支援においても助産師の活躍は必要。連携し質を高めたい。
- ・通常の業務が忙しく、研修等に参加が難しい。
- ・地方では出生数の減少に伴い、医院存続が危うい。
- ・助産はすべて医師が行っており助産師は妊婦や産婦への教育が主体となっている。
- ・診療所への助成がほとんど無い、病院でしか分娩できないことになることが予測される。
- ・性教育や女性医療、不妊症など、助産業務以外の資質向上にも努めていかないと、助産師のニーズは減る一方と思われる。